

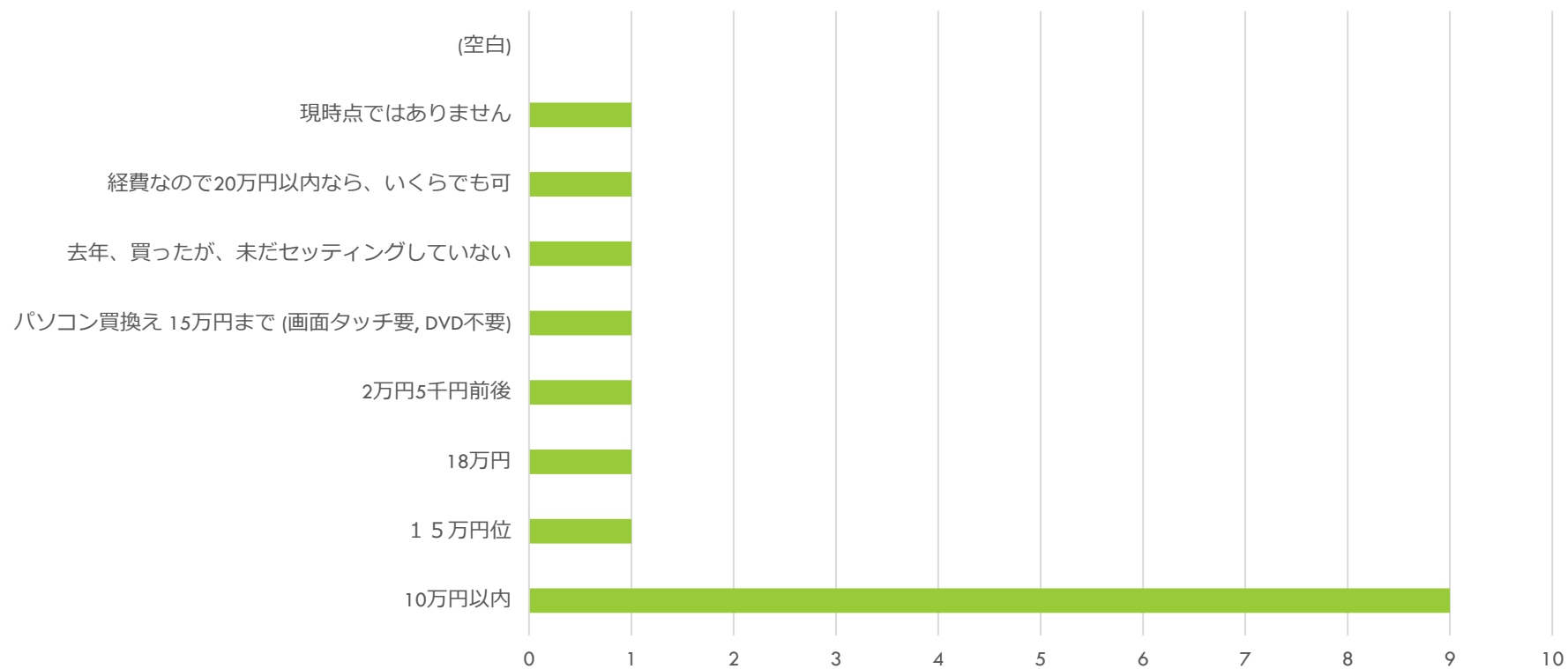
お金を掛けないわが家のIT戦略

(パソコン編)

みなさん、ご自宅のパソコンにどの程度、お金をかけていますか？

アンケート結果

データの個数 / アンケート（パソコンを買い替える予算は？）

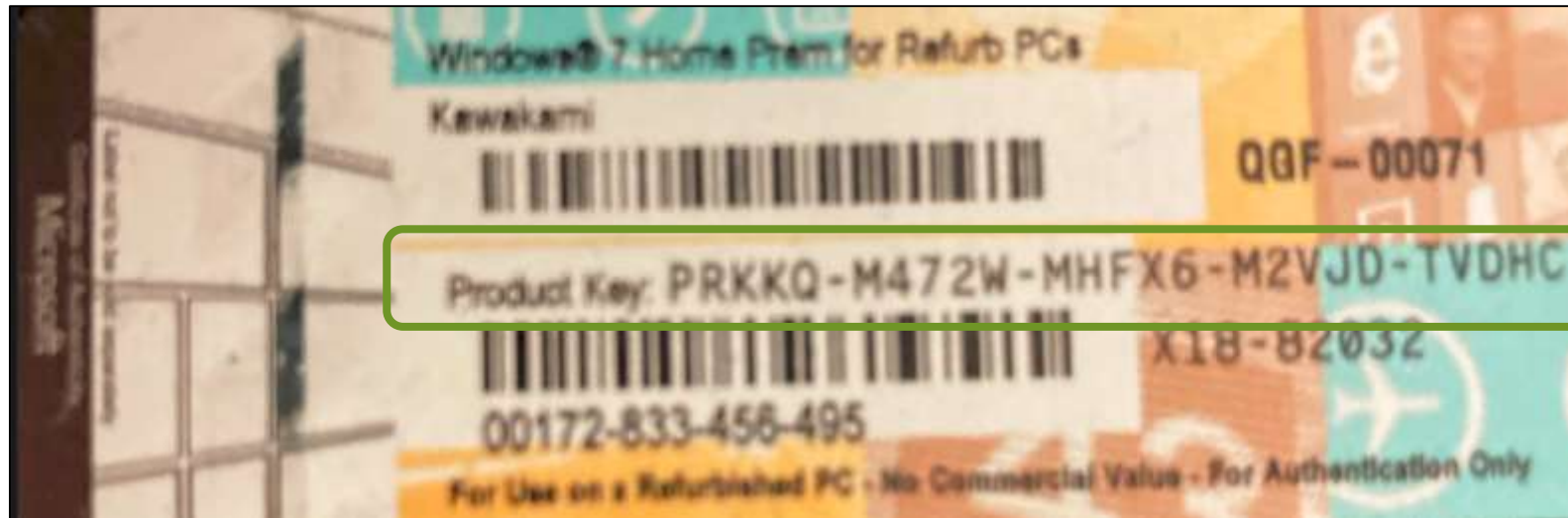


Q: OSは買わなくてもよいのか？

A: OSは必要ですが、必ずしも対価を支払う必要がない場合があります。

- ①パッケージのOSを購入する
- ②法人用サブスクのM365を購入する
- ③メーカー製のインストール済みのOEMで間に合わせる
- ④中古PC版版者が導入するリファビッシュOSで間に合わせる
- ⑤ダウンロードしたイメージからMS-IDを使ってインストール
- ⑥上記でインストールした後、Windows7のプロダクトキーで認証する

Windows7のプロダクトキー（サンプル）



Windows7のプロダクトキーを入れると、Windows11はWindows7のアップグレード対象であるため、「Genuin（ジエニイ）」（認証された正しいOS）として認証される。
この作業は休眠していた電話番号を会社の総務担当者が復活させる作業と似ている。
72000円という対価を払い済みの電話番号は休眠中は費用がかからない。もちろん、現在は電話番号の新規取得は工事費用だけであるが、法人で連番取得をしているため、企業イメージを守るため、この作業は必要。電話番号もOSも「資産」である点に注目。

Q: バージョンアップは必要か？

A: 必要です。理由はセキュリティ対策のためです。

① ウィルスバスターを3年契約で使っているのに、OSは古くても問題ないのでは？

⇒ アンチウイルスソフトはOSが最新のパッチを当てていることが前提です。セキュリティパッチが当たらないOSでは効果が出ません。

② 法人契約ではパッチ適用を延長していると聞いたが...

⇒ 本当です。但し、有償です。個別にMSと契約が必要です。

③ Windows11にアップグレードしようとしたが、最初のセキュリティチェックでハードウェアが非対応と言われた。

⇒ 方法があります。ハードウェアチェックは回避できます。

Rufusを使え！（<https://rufus.ie/ja/>）

- ・ Rufusでインストール時のセキュリティチェックを外したWin11のイメージをダウンロードできます。
- ・ インストール時にセキュリティチェックがないため、未準拠の機器でもWin11が入ります。
- ・ MS-IDがあれば、プロダクトキーがなくとも、継続してWin11を利用できます。

Windowsのバージョンとサポート期限 (Proの場合)

	Win10	Win11	Win12
リリース	2015年7月29日	2021年10月5日	2024年 ?
21H2	2023年6月13日	2023年10月10日	
22H2	2025年10月14日	2024年10月8日	
23H2	-	2025年11月11日	

Q:中古 P Cを買う目安は？

A: Windows11を使うために必要なスペックを満たしていれば、購入して3－4年は使えます。楽天市場やAmazonで購入できます。

メモリ 16G

HDD/SSD 256G

画面 15インチ（ノート）

価格 1万5千円前後から、最大2万5千円ぐらいまで

導入OS Win10でもUpgradeすればOK、Proを選んでください

購入例

hp ProBook 450 G3

CPU : Core i3 6100U

メモリ : 16GB 液晶 15インチ

新品SSD : 2.5インチ 256GB

Windows 10 Pro 64bit

【送料無料】 【100日保証】

クーポン ▲1,000円

計13,800円

RufusでWin11をダウンロードして、Upgradeします。 ⇒ Win11 23H2
OfficeはOffice365サービスで自分でインストールします。
CPUは通常のOA用途であれば、Celeronでも問題ありません。

まとめ

中古PCは企業で4～6年使われた機材から使える部品を集めて再構成されたものが多く、購入して3～4年程度使うのであれば、リーズナブルな値段で購入できて、それなりに使えます。

新しいPCを10万円程度で購入しても、結局3～4年後には、何らかのバージョンアップ作業や追加の費用は避けられません。

また、MSの戦略で、Officeのパッケージ販売のサポートが2026年にすべて終了します。その時、OSとOfficeの新しいルールが発表されると考えられます。それを見定めてから、PCの費用投下は考えた方が良いでしょう。

それまでは中古PCの利用で十分だと考えます。